



令和 5 年 11 月 27 日

午前・午後 8 時 30 分 受領

No. 1

令和 5 年 11 月 27 日

議長	事務局長	係
		

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会議員 金繁 典子

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 燃料費や肥料、農薬が高騰するとともに、豪雨や高温、寒波などにより作物の収穫が減少し、農業生産現場の厳しさが増す中、農業支援とともに温室効果ガス削減に寄与するために～国（農林水産省）が多様な支援策を用意している「みどりの食料システム戦略」に愛南町は農業部門で取り組むのか、現状と今後について問う</p> <p>国は食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現を目的とした「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、ドローン活用やスマート農業支援など多種多様な支援策を用意し、全国の自治体に呼びかけている「オーガニックビレッジ宣言」にはすでに 91 の市町村が手を挙げて、自由度の高い補助金（補助率 10/10）を得て有機米を慣行米の約 3 倍の値段（30kg 24000 円）で農家から買い上げるなどして活用しています。愛南町では水産部門ですでにブルーカーボン（藻場）の保全と再生に取り組み全国的にも先進事例となっており、また、国が推進する 2050 年カーボンニュートラル（環境省）に向けて脱炭素化の計画も現在作成中です。</p> <p>そこで、農業部門での取り組みをお聞きします。</p>	町長

2. 足摺宇和海国立公園の須ノ川公園に建設する計画の先進的海洋センター（約 7 億円）について、その内容、主体、運営、手続きなど不明瞭な点を問う

町長

愛南町では、B&G 財団の助成金事業（10 億円）「先進的海洋センター」に応募する計画を教育委員会の議案としないまま教育長主導で作成し、その内容を議会、町民にも見せないまま応募しました（10 月 3 日）。1 次審査を通過して（11 月 6 日）、2 次及び最終審査が 12 月 5、6 両日に愛南町で行われるものの町民にも議員にも非公開です。この最終審査に通過すれば愛南町は同センターの建設を「辞退できない」とのことです。

そこで不明瞭な点をお聞きします。

3. 役場内における男女共同参画推進を～本庁の一般行政職において、女性職員（正規職員）のいない部署が 3 割以上（防災対策課など 5 課）、女性職員が配置されているものの等級の低い一般職（1 級及び 2 級）に限られ、かつ、その割合も 10% 台に留まる課が 3 割以上（総務課、企画財政課など 5 課）あり、性別による配置に著しい偏りがある。その理由、課題、改善策などについて問う

町長

国は、一人一人の女性が個性と能力を十分に発揮できる女性活躍を推進しており、特に公務部門での女性の活躍は、我が国の政策方針決定過程への女性の参画拡大という重要な意義を有し、住民のニーズのきめ細かい把握や新しい発想を生み出し、政策の質と公務部門におけるサービスを向上させると明言しています。そのため、特定事業主行動計画の策定指針では特に「性別に関わりのない職務の機会付与」に取り組む必要があるとし、変革

推進施策の一つとして「女性職員が少ない職種・部門への積極的な配置」を掲げています（『地方公務員におけるダイバーシティ・働き方改革推進のためのガイドブック』総務省 R2）。

そこで愛南町における状況をお聞きします。

Blank lined area for writing the response.